

さが 看護協会だより

KANGO

January.2017



佐賀県看護協会

〒849-0201

佐賀市久保田町徳万1997-1

TEL.0952-68-3299 FAX.0952-68-3603

URL <http://www.saga-nurse.org>

E-mail sagakgkk@coral.ocn.ne.jp



【表紙写真】「2016佐賀熱気球世界選手権」 撮影:小池恭栄

..... CONTENTS

- ② 会長あいさつ
- ③ WLB推進ワークショップ
- ④~⑤ 看護ふれあいフェスタ
- ⑥~⑩ 各地区支部だより
- ⑪ ふれあい看護体験
・とどけるん
- ⑫ 看護職再就業支援研修会
- ⑬ 研修報告
- ⑭~⑯ 特集 看護部の取り組み
・ナース川柳
- ⑯ 協会からのお知らせ
・理事会報告・編集後記

会員数

5,655人
H28年12月現在

保健師
193人

助産師
114人

看護師
4,938人

准看護師
410人

あなたのラッキーナンバーは？

佐賀県看護協会 会長 三根 哲子



会員の皆様、新年おめでとうございます。

また、ひとつ年をとりました。振り返ると40年以上に亘る看護の仕事や生活の中で、見つめてきたのは健康でした。人々の健康を守ることに加え、今、自分の健康を見つめなおす時。グーンと減った運動量をどうとりもどすかが、近年の課題で、手っとり早い方法が見つかりません。いえ、手っとり早い方法は夢ですね。

現職の皆様には他愛もないと笑われるでしょうが、「継続は力なり」。今年は毎日5000歩に挑戦し、気持ちを爽やかに保つよう頑張ります。

リオ五輪、陸上男子400mリレー…銀メダルのことはご記憶ですか。4人の個人タイムの合計では届かないメダルに、世界一のバトンタッチで挑みましたね。その時、私は目の前で起こったことに目を見張り、思わずウワーッ・スゴーイ… その瞬間が昨年最大の感動でした。

具体的な目標をもち努力を重ねることの大切さ、そして、努力の結果が見事に發揮され、見た人に驚きと感動を与えましたね。

さて、新会員カードは皆様のお手元に届きましたでしょうか。

健康保険証・運転免許証・バンクカード・ポイントカードなど等、近年はマイナンバーが大切なものの1つとなりましたが、会員にとっては永年保存の大切なカードです。会員と看護協会を繋ぐために開発されたシステムで、活用法はあなた次第。もっと便利に活用するための提案もお寄せください。大歓迎です。

まじまじと新会員証を見ると、会員番号は何とひと桁の「6」でした。急にルーツに興味が湧き、担当者に訊ね・考えてみました。そして結論は、昭和57年に保健師・助産師・看護師の3部会が統合して看護協会が現体制となった時、保・助・看順に当時の会員施設に番号をとり、施設順に一人に1つづつつけた会員番号が今も有効とのこと。ちなみに、2桁までの番号で現会員は16名。いずれも保健師でした。

現在は施設順でなく申し込み順に付けられています。佐賀県の現会員数は約5600人ですが、通し番号は18000を超えてます。

現体制になって、私は6代目の会長。急に6という数に愛着を感じました。

「6」は、今後私のラッキーナンバーかも？

平成28年度看護職のワーク・ライフ・バランス推進 ワークショップ開催しました

日 時：平成28年9月14日（水）～9月15日（木）
開催場所：佐賀県看護協会 看護センター

今年度は3年目2施設、1年目1施設の3施設で行いました。

各施設は、2日間熊本大学の菊池先生、明和会医療福祉センターの竹中先生のアドバイスを随所に受けながら、インデックス調査を分析して、課題抽出し、問題解決に向けた取り組みについて検討しました。今後はインデックス調査結果より明らかになった課題に対して、これから3年後のゴールを目指して、4ヵ月後、1年後と目標を決めて段階的に取り組んでいきます。2日間で延べ88名の参加があり、活発に意見交換ができました。

4ヵ月間の取組みの評価と継続の準備であるフォロー・アップワークショップを平成29年1月19日（木）に行います。



ワークショップ参加者の声より

- 働きやすい、働き続けられる職場環境を作るアイディアがたくさん詰まった研修だった
- 初めての参加。自分たちが働きやすい環境へ変えることができることを実感した。
- データの読み方だけでなく、現場の意見を入れてPDCAサイクルを回していく継続した取り組みに感動した。
- 講師や支援者から直接アドバイスを受けることができた。分かりやすかった。

「看護職のWLB推進 カンゴサウルス賞」 受賞：佐賀記念病院

WLBワークショップに参加して

医療法人社団敬愛会 佐賀記念病院 看護部長 光武 弘子
病院全体で労働環境改善に取り組み、職員の意欲向上につなげたいとの思いからワークショップへ参加の手をあげました。インデックス調査結果を分析し現場の意見を確認しながら、課題に取り組み「先取りケア」「ノー残業デーの設置」「WLB新聞の発刊」「お悩み相談ポスト設置」「年末年始手当の支給」「病棟業務改善」「夜勤者への食事提供」「感謝の気持ちを伝える運動」「障害者雇用の促進」等のプランを立て実施し改善を加え活動していました。2年目には、思うような結果が出ないことから落ち込むこともありましたが、推進委員の先生方や看護協会の方々からの励まし・アドバイスで乗り越えることができました。職員をはじめ患者さんやご家族の方からも好評を得ており、これからも活動を続け「働きがいのある職場環境づくり」を行い、質の高い看護サービスの提供に繋げていきたいと思います。



平成29年度看護職のWLB推進ワークショップ開催いたします。

ワークショップにご興味を持たれた病院施設はまずは、ご一報ください。
インデックス調査のみの参加についてもご相談ください。

連絡先：佐賀県看護協会 担当：横田





小中学生、高校生、教職者、保護者、社会人の方々に、多くの若者が看護職を目指してくれることを期待して、看護職の魅力や看護の新たなイメージを発信しようと佐賀県と看護協会が開催いたしました。白衣ファッションショー、看護体験発表、ビデオ上映、看護体験、看護師・看護学生とのふれあい、看護学校紹介・進路相談、白衣試着・記念撮影会など多彩な催し物を行い盛会でした。

忘れられない看護エピソード

○さんへの手紙

いぬお病院 福島 進

職場の先輩○さんが亡くなつて、今年で2年になります。私が勤務先の病院にはじめて出勤した日に、更衣室で最初に声をかけてもらつた人でした。そして、「癌になつたよ。」と告げられたのも更衣室でした。

お互いに近い感受性だったのでどうか、会話はよく弾んだし、黙っていても苦痛を感じない人でもありました。釣りに山歩き、ソフトボールなど、プライベートでも親しくしてもらっていました。○さんが休職中、世間話をしたいとメールをいただきました。患者さんから○さんの話題がでましたよ、と伝えると「うれしかね~。」とコロコロと笑われていましたし、常々、早く職場復帰したいと望んでいました。

今となって思えます。話し相手になってもらっていたのは、実は私の方だったなあ、と。誰かの本に書いてありましたが、死は死を看取るときよりも、失ったあととの喪失感に耐えることの方が、ずっと辛い。

大事なことは、あとになってからわかることが多いようです。○さんとの時間は、ありがたく、かけがえのないものだつたと思えます。

「看護は、人にしてあげるのでなく、人からさせてもらうもの。でも現場はきれいごとばかりでは、やっていけないもんね。なかなか難しかね。」○さんは、いつもそんなことを語ってあったように思います。古いカルテの中に○さんの文字を見つけると、沢山のできごとの情景がありありと甦って、今でも鼻の奥がツンとしてしまって胸が疼いてしまいます。

○さんから学んだことはいっぱいあります。たとえば、緊張をする場面でも、場をやわらげるユーモアの大切さです。患者さんが口論しているトラブルの場面で、スタッフが落ち着いてもらえるように関わっていました。そこに、小さな虫が飛んできました。○さんが「あっ、虫。虫のことは無視できないね。」このセリフに場が一気に和んだことがあります。また、○さんが休職明けで一時職場復帰した時に、体力的、精神的につらい時でも、自然な雰囲気でスタッフや患者さんと挨拶を交わしてある姿に、プロとしての強いメッセージを受けていたように思います。プライベートで何かを背負っていても、笑顔で仕事をすることのプロ意識を学ばせていただきました。

私は覇気がとぼしく仕事で笑顔を作るのが苦手のようです。でも、○さんみたいに素敵な笑顔で仕事ができるように、ささやかですが、スタッフの皆さんと頑張りますね。

○さん今までお疲れ様でした。
そして、長い間ありがとうございました。



未来への大切な時間

国立大学法人 佐賀大学医学部附属病院
米原悠子

人生で一番といつてもいい幸せな時は、結婚して妊娠し、生まれてくる子供との生活を想像している時ではないだろうか。

私は、不慮の事故で重傷を負い緊急入院した男性を担当しました。男性の容態は厳しい状態であった。男性は結婚したばかりで、妻のAさんは妊娠中であった。Aさんは、突然の出来事で受け入れることができず、夫のベッドの横で「なんでこうなるの？もうすぐパパになるんだよ。1人にしないでよ。」と泣き崩れていました。いつ心臓が止ましてもおかしくない状態の夫とAさんとの時間を看護師としてどう関わっていくべきか私は悩んだ。

入院2日目Aさんは疲れ切った顔で、夫の顔を見つめていた。私は「体調大丈夫ですか。休むことできていますか。」と声をかけた。Aさんは「いろんな事が心配で…。」と小さな声で答えてくれた。それから、少しずつAさんと話をする時間が増えていった。子供が男の子ということ、大きくなったら野球をさせようと夫と話をしていたこと、名前は夫が決めてくれていること。いろんな話をする中で、少しずつAさんはやさしい顔になり、「事故にあってもう話はできないけれど、夫とこの時間をもててよかったです。」と言ってくれた。

入院3日目、夫の血圧と脈拍が低下していく中でAさんは、「大丈夫よ。みんなそばにいるよ。子供のことも心配しないでいいから。」と何回も声をかけていた。私は、Aさんに「パパにお腹をなでて力をもらっておかないと。こんなに頑張っているから、きっと子供も強い子だね。」と話すとAさんは、夫の手をお腹にあてた。その時、夫は分かっているかのように血圧が上昇した。Aさんは夫に「ありがとう、がんばってくれて。」と涙を流しながら声をかけていた。

翌朝、夫は息を引き取った。当初泣崩れていたAさんが、お見送りする際「ありがとうございました。これから色々大変だけど、1人でも子供を育てられそうな気がします。」と笑顔で言ってくれた。そしてAさんは、私たちにお礼を言い、夫がいる車に乗り込んだ。

この親子の行く末を考えると、今から出産や育児とたくさん大変なことがあると思う。でもこのママだったら、きっと大丈夫と感じた。私は、Aさんと生まれてくる男の子が笑ってパパの話をしている未来を想像しながらAさん一家を見送った。



今年は、111名の保護者を含めた小中高生と看護学生の参加がありました。このフェスタに参加したことで「看護の仕事への関心が高まった」「看護職になりたいと思った」という声が多くありました。

また、「看護の仕事」のイメージは、という問い合わせに対して、「大変できつい仕事」「責任も大きいがやりがいのある仕事」「一生働き続けることが出来る」「今後さらに社会から求められる職業」「病院以外の様々ななところで活躍できる」など看護に対する関心が高まってきているようです。

フェスタの様子を紹介します





東部地区だより



健康フェア

平成28年9月10日(土)

吉野ヶ里温泉 卑弥呼の湯において、血圧測定、健康相談、骨粗鬆症、生活習慣病のパンフレットの配布を実施しました。血圧測定や健康相談など23名の方に参加頂き、健康相談では徐脈等の相談がありました。参加していただいた方は、自分で血圧測定を行われている方が多く、健康に対する意識の高さが伺えました。次年度は、より健康意識の向上に繋げていけるよう工夫していきたいと思います。

研修会

平成28年11月12日(土)

演題 コミュニケーションワークショップ「自分の魅力・他人の魅力」

講師 NPO法人 ワーク＆ライフサポート 理事

産業カウンセラー・キャリアコンサルタント 高山 里美 氏

東部地区看護協会特別講演会が、みやき町中原庁舎で行われました。キャリアアップのためのコミュニケーションワークショップ「自分の魅力・他人の魅力」の研修を行い、15施設43名の参加がありました。グループの中で、楽しかったこと、嬉しかったこと、頑張ったこと等を発表、質問タイムを経て、一人ひとりの印象をシートにチェックし、プレゼントし合いました。

対人関係における気づきのグラフモデル「ジョハリの窓」に落とす作業を学習しました。「すごい」「さすが」「素晴らしい」「素敵」の4つのSを忘れないで会話することを学びました。自分のことをグループのメンバーに話すこと、なんだか満たされた気分で研修を終えることができました。

★★★ 参加者からの感想 ★★★

- いろんな人と会えて楽しかった。自分のことを人がどのように思っているのかと、少し恥ずかしいような、認識するようなことでした。楽しい時間でした。
- グループで話をしているうちにお互いを知って仲良くなつた。コミュニケーションの取り方を勉強した。
- コミュニケーションがあまり得意ではない方であり、他の人の会話の中で、自分の傾向を知ることもでき、話し方のコツを学ぶことができた。
- 知らない人とでも会話できるきっかけをもらいました。職場で生かすことができるものでした。





西部地区だより

進路相談会

平成28年7月13日(水) 白石高校 39名
7月19日(火) 鹿島高校 23名

講 師：岩本 利恵 先生

テマ 「看護師の仕事と看護師への道」

生徒から「奨学金制度について聞きたい」「看護師国家試験で不合格になるのはどんな場合でしょうか」などの質問がありました。進路担当の先生より、看護系大学の進学希望者が年々増えてきていると伺い、今後の看護の担い手が増えることを期待させる二日間でした。



「老人月間」 健康相談

日 時：平成28年9月15日(木)

13:30～15:30

場 所：鹿島市祐徳温泉

参加者：18名(男性 8名 女性 10名)



地元以外の県外からも来られ、60～70歳の方の相談が多数ありました。普段からの健康管理もしっかりされており感心させられました。「どこから来たね。」と気軽に声をかけて下さり、和やかな交流の場ともなりました。

～研修会～

平成28年10月26日(水) 18:30～20:00

テマ 「認知症のある患者への関わり方」

講 師：社会医療法人祐愛会 織田病院 認知症看護認定看護師 市丸 徳美 先生

参加者：125名(非会員を含む)

今回のテーマは年々増加している認知症患者への関わり方について講演して頂きました。認知症の症状も多種多様であり、日々悩むところですが、患者様のありのままを見つめ、思いを知り、寄り添い「出来る事探し」が第一と学びました。今後の看護の参考にしたいという声も多数聞かれ、有意義な研修会となりました。

★★★ 参加者からの感想 ★★★

- 認知症の症状、種類について再認識出来た。
- 問題行動ととらえず、行動に意味があると考え行動する事の大切さを学んだ。
- 今後は話し方や口調を変えて患者様に接していくと思った。

認知症のある
患者への関わり方

患者のできることに
目を向けましょう！





中部地区だより

「老人看護月間」事業 健康相談

日 時：平成28年9月10日(土)

13:00～16:00

場 所：イオン佐賀大和店1階 くまざわ書店前広場

内 容：血圧測定・体脂肪測定・健康相談

乳がん触診モデルによる体験

参加者：125名

“老人看護月間”事業の一環として、昨年同様、イオン佐賀大和店で「看護」「健康」をアピールしました。老若男女を問わず、10代から80代まで多くの参加者と触れ合うことができました。近年、血圧測定・体脂肪測定は、家庭でも気軽に測定できることから、わざわざ測定してもらおうという人は少なくなってきたというようですが、そこは看護師という立場から、健康上の悩みや相談事に対して受け答えすることもできました。また、今年は、乳がん触診モデルを取り入れ、しこりの体験をしてもらいましたが、マスコミで取り上げられることも多く興味深い体験となったようです。

今回の事業が、少しでも自分や家族、周りの人達の健康を気遣う、思いを馳せる時間やきっかけになれば幸いです。



中部地区研修会 予定

テーマ：「生活習慣病診療から肝臓病を見落とさないコツ」

～診療から最新治療まで一挙大公開！～(仮)

日 時：平成29年2月11日(土)14:00～16:00

場 所：佐賀県看護研修会館

講 師：佐賀大学医学部附属病院

江口 有一郎 先生





南部地区だより

佐賀広域消防局主催 「救急の日」健康相談

日 時：平成28年9月3日(土) 13:00～15:00
場 所：ゆめタウン佐賀 セントラルコート
参加者：25名



消防音楽隊による演奏、マスコットキャラクター消太君による救急蘇生のデモンストレーションの後、血圧測定、体脂肪測定、健康相談を実施しました。開始後から途切れることなく20～80歳代の幅広い年齢層の方が来られ、中には毎年来ているという方もおられました。体脂肪の高い方、肥満傾向のある方も多く、パンフレットを渡しながら定期健診や受診を勧めました。

「老人看護月間」事業

日 時：平成28年9月10日(土)
14:00～16:00
場 所：イオンスーパーセンター佐賀店
フードコート
参加者：29名



血圧測定、体脂肪測定、健康相談、管理栄養士による栄養相談、理学療法士による口コモティブシンドローム予防の体操を実施しました。参加された方は健康への関心が高く普段の自分の血圧を把握しておられ、気になっている健康状態についても積極的に相談されました。高齢の方は下肢筋力低下を予防するための運動に关心があり、熱心に指導を受けておられました。肩や股関節、膝などの痛みや障害をお持ちの方が相談に来られたので、理学療法士の協力を心強く思いました。



南部地区研修会

テーマ：「災害看護について」－熊本地震被災地活動を通して支援看護師の役割と課題－
日 時：平成28年11月26日(土)14:00～15:30
場 所：佐賀市医師会立看護専門学校
講 師：副島 佐紀子 先生
参加者：51名



北部地区だより

北部地区支部研修会

平成28年2月13日 伊万里市民センターにて
「Emergency care method ~看護の力で救える命~」
講 師：救急認定看護師 草場 賢太郎 氏
参加者：70名



★★ 参加者からの感想 ★★

- 看護現場のレベルがアップしていることを感じ、頼もしくなりました。
- 医師顔負けの報告ができる看護師が増えると心強いと思います。
- 看護師1年目ですが、とても勉強になりました。
- ビデオがありわかりやすい内容でした。
- 報告の仕方がためになりました。
- 本日の講義はわかりやすくレジメにも記入され、目でもみる事ができました。
- とても良い刺激になりました。

看護の日

平成28年5月14日

鳴神温泉 ななの湯 50名の参加
伊万里温泉 白磁の湯 39名の参加
血管年齢チェックが好評でした

老人看護月間

平成28年9月10日

伊万里温泉 白磁の湯 52名の参加
自宅で血圧をはかっている人も
多かったです



北部地区は伊万里
有田焼・唐津焼が
有名です
見るだけでも楽しい
ですよ



ふれあい看護体験

7月20日から8月23日まで、高校生を対象にした施設での看護体験が行われ、県内39校より296名の参加者がありました。



こんなことを学びました(感想)！

- 病院には色々な職種の人が一緒に働いていることがわかった。人のいのちを助けるために、チームワークが大切であることを学んだ。
- 患者さんに「ありがとう」と言われたとき、とても嬉しかった。
- 車椅子体験や高齢者体験をしてみて、初めて大変さに気づいた。

《実施施設》 ご協力ありがとうございました。

今村病院、伊万里有田共立病院、うえむら病院、宇都宮病院、嬉野温泉病院、大野病院、大町町立病院、小城市民病院、織田病院、河畔病院、唐津市民病院、きたはた、唐津赤十字病院、唐津東松浦医師会医療センター、きやま鹿毛病院、神野病院、古賀小児科内科病院、古賀病院、国立病院機構嬉野医療センター、国立病院機構佐賀病院、国立病院機構東佐賀病院、済生会唐津病院、佐賀記念病院、佐賀県医療センター好生館、佐賀市立富士大和温泉病院、佐賀大学医学部附属病院、佐賀中部病院、鮫島病院、志田病院、城内病院、白石共立病院、新武雄病院、副島整形外科病院(唐津)、副島整形外科病院(武雄)、高島病院、多久市立病院、町立太良病院、なゆたの森病院、西田病院、ひらまつ病院、前田病院、山元記念病院、やよいがおか鹿毛病院

(42施設、五十音順)

「とどけるん」

「看護職の届出制度」が始まり、1年が経過しました。保健師、助産師、看護師、准看護師の免許をお持ちでお仕事をされていない方は届け出をして下さい。

届け出の方法

- 1) 自分で… スマートフォンまたはパソコンから届出サイト「とどけるん」を開き登録する
- 2) 施設を通じて… 退職時に施設へ届出票を提出してください
- 3) ナースセンターを通じて… 届出票をナースセンターに郵送してください

看護師等の届出サイト

とどけるん

<https://todokerun.nurce-center.net/todokerun/>



第1回 看護職再就業支援研修会

佐賀県の委託を受け、再就業を希望する看護職を対象に10月17日から25日まで研修会を開きました。12名の受講生が、講義・演習・施設実習を受けました。



講義・演習：佐賀県看護協会看護センター

実習：小城市民病院 佐賀記念病院

佐賀リハビリテーション病院

副島病院 つぼみ荘

ひらまつ病院（五十音順）

ご指導くださった皆様、ありがとうございました。

- ブランクが長かったので、医療の変化を知ることができて良かった。
- 新しい知識や技術を学ぶ機会になった。
- AEDの操作や、採血・点滴静脈注射等、実践的に学べた。
- 久しぶりの病院実習で緊張したが、看護師さんがていねいに教えてください、有意義な実習をすることができた。
- 学習の機会を得られて良かった。少し勇気を出して一歩踏み出そうという気持ちを持つことができた。
- 託児サービスを利用して、6日間集中して学ぶことができた。

平成28年度 看護職員離職・需要調査

調査時期：8月～9月

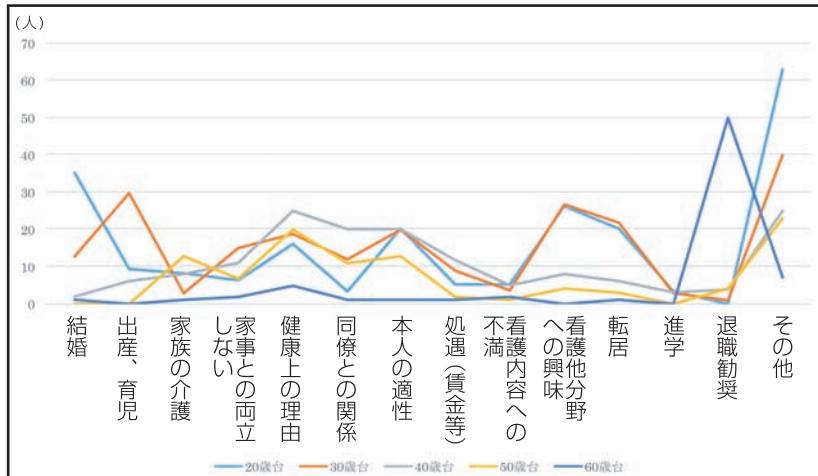
◆ 平成27年度看護職員離職者調査結果

施設種別	対象施設	回答施設	回答率(%)	離職者あり		離職者なし	
				施設数	離職者数		
病院	107	69	73.8	60	529	18	9
診療所	686	190	27.7	51	85	2	139
特養・老健・訪問看護ステーション	153	90	58.8	48	81	1	42
学校	14	12	85.7	7	13	1	5
計	960	361	37.6	166	708	22	195

◆ 平成28年度看護職員確保について

施設種別	対象施設	回答施設	募集なし	確保		未記入
				できた	できなかつた	
病院	107	69	12	31	25	1
診療所	686	190	118	34	32	6
特養・老健・訪問看護ステーション	153	90	33	21	34	2
学校	14	12	3	6	2	1
計	960	361	166	92	93	10

◆ 年代別離職理由



研修報告

NSTにおける看護師の役割

10月6日（木）10:00～16:00

地方独立行政法人佐賀県医療センター好生館 副館長 佐藤清治 氏
地方独立行政法人佐賀県医療センター好生館 NST 専門療法士 平川千津子 氏

栄養管理に必要な基礎知識と看護師の役割を目的に開催し、41名の参加がありました。

栄養管理の基本から改めて学び、NST専門療法士からの詳しい活動内容を知り実践に近い学びの多い内容でした。

栄養不良には何故陥るのか、経口摂取だけでは充足出来ない場合における経静脈栄養、経腸栄養の選択など消化管の機能を元に幅広く学ぶことが出来ました。佐賀県医療センター好生館での実際の活動内容についても詳しく話されました。看護師の視点から全体を捉え状況をアセスメントし活動に活かしていくことの重要性を再認識しました。研修生から「実務と照らし合わせ振り返り、反省や改善点がはっきりして学びが多くかった」「NSTについて深く学べました。看護師にも役割は多く、今後さらに学びを深め活かしていきたい」という感想がありました。

看護師が身近にいる者として得られる情報量は一番多く、コーディネーターの役割を担っていると話されました。

研修での学びを各施設でのNST導入、活動、教育に繋げ充実したサポートができるように取り組むことが大切だと思いました。

織田病院 山本衣里子（看護協会教育委員）

介護施設や在宅における看取りケア

10月16日（日）10:00～15:30

東京有明医療大学看護学部看護学科 准教授 川上嘉明 氏

一昨年と今年もまたに「看取り」について、「穏やかな自然な死」を中心に語っていただきました。

日本看護協会は、「看護の将来ビジョン」骨子で、人生の6つの場面で看護職の役割を示し、その一つに「穏やかに死を迎えることへの支援」を提示しています。今回のお話もグッとタイミングで、川上先生の看護師としての体験とお人柄、大学院で更に極めてこられたデータをもって、人の死を冷静に、尊厳をもって丁寧にケアしていくことの大切さを、実際の看取り場面のフォトを使いながらお話いただきました。特に亡くなる前の水分摂取量の変化、体重とBMIの変化のデータは、あまり目にしたことはないのではないでしょうか。これらは、「先手の看護」をするための重要な観察となることも強調されました。自然の生命過程を尊重すること、その生命過程を邪魔しないことによって消耗を最小にすること、そして死にゆく人が持つ力に頼ること、こうしたことによる「穏やかな死」を看護者が作っていくことが重要であると結ばれました。

多くの方に参加していただきたいと日曜日開催にしましたが、45名申込みで実参加は40名参加、ちょっと残念な勿体なかつたなあという思いです。

看護協会事業部 担当 持丸晴美

呼吸不全患者の呼吸管理と看護

10月18日（火）10:00～16:00

地域医療機能推進機構 佐賀中部病院 副院長 河島通博 氏
国立病院機構 嬉野医療センター 集中ケア認定看護師 河上ひとみ 氏

近年、患者数の増加傾向にある呼吸不全の患者管理研修に、52人の参加がありました。河島通博医師が病態生理と検査各種とデータの見方、呼吸ケアを集中ケア認定看護師の河上ひとみさんが講義されました。呼吸不全といつても、低酸素血症をおこす要因はいくつかあり、病態の違いが検査データに反映されることなど、解剖生理学に基づきわかりやすく説明され、理解が深まりました。化学式に苦手意識を持ちやすい動脈血ガスも、必要最低限のポイントをわかりやすく解説されました。また、臨床で測定されることの少ない分間の呼吸回数測定は、呼吸状態が悪化する前段階で異常を察知することから、バイタルサイン測定の重要性と基本に立ち返ることができました。

今回の研修では、検査データから病態を読み取り、看護に生かすための基本を学ぶことができたと思います。2000円では破格の研修内容です。ぜひ、来年はもっと多くのみなさんに参加していただきたいと思います。

唐津赤十字病院 中島 愛（看護協会教育委員）

特集

看護部の取り組み



専門・認定看護師によるスキルアップ研修会のご案内

当院看護部では、専門看護師は、「がん看護」と「慢性疾患看護」の2分野4名、認定看護師は、「感染管理」「皮膚・排泄ケア」「集中ケア」「新生児集中ケア」「救急看護」「緩和ケア」「がん化学療法看護」「乳がん看護」「慢性呼吸器疾患」「摂食・嚥下障害看護」「慢性心不全看護」「糖尿病看護」「手術看護」「脳卒中リハビリテーション看護」14分野23名、計27名が、日々の看護実践、コンサルテーション、教育指導等を通して活躍しています。高度先進医療を提供する大学病院において、自らが役に立てると思う場面に積極的に参加し、さまざまなメディカルスタッフと連携して問題解決にあたる専門看護師・認定看護師の存在は、看護部の大きな柱です。

専門看護師と認定看護師の活動の一環として、平成25年より院内看護師に加え、県内の看護職を対象に、『専門・認定看護師によるスキルアップ研修会』を開催し、4年目を迎えました。講義や演習を通して「臨床実践に活かせる」ことをモットーに内容を工夫しながら運営しています。

院内の看護職とともに院外の受講者も年々増加し、平成27年度は、佐賀市のみならず伊万里、唐津、嬉野等の方面から約200名の院外からの受講者があり、地域看護職との連携の場になりつつあることが実感できています。研修の評価としても、ほとんどの受講生が、「理解できた」「ほぼ理解できた」と回答しており、実践での質問が多く効果的な研修会であると考えています。

詳しい内容は、佐賀大学医学部附属病院のホームページに紹介しています。研修申し込みもFAXに加えホームページから電子メールでの申し込みを追加しました。

ぜひ、スキルアップ研修を有効に活用して日常の看護実践に活かしてみませんか？

佐賀大学医学部附属病院 藤満幸子



「がん看護」講義中：講師との距離が近いので質問しやすい雰囲気です。



「慢性疾患看護」でグループ演習中！
皆さん熱心に取り組まれています。

「自施設での看護の取り組み」～リソースナース出前講座～

肥前精神医療センターには、医療現場の実践モデルとして役割を果たし、専門分野の知識・技術の活用、看護職員への支援、看護ケアの質向上を目的としたリソースナース会があります。

日本看護協会感染管理認定看護師、日本精神科看護協会認定看護師(依存症看護・精神科薬物療法看護・児童思春期看護・行動制限最小化看護)、認知症ケア専門士、呼吸療法認定士、糖尿病療養指導士等のリソースナースが所属しており、それぞれの専門分野を活かした看護ケアを実践しています。また、精神科疾患で糖尿病の身体合併症など、看護問題が重複し解決困難な患者に対して、各分野のリソースナースが一丸となり事例カンファレンスの開催、ケアの指導を行っています。

活動の一つとして、地域の皆様とのシームレスな連携と交流を図るために出前講座を行っています。小学校・中学校、公民館やコミュニティセンター、福祉施設、一般企業など地域のさまざまな場所へ伺い、発達段階別(児童～青年期、働き盛りの人、女性、高齢者)の心の健康問題や、対策方法では「認知症の早期発見」「アルコール依存症のチェック方法」「子供・大人の発達障害」「精神科・認知症病棟での感染対策」等の具体的な講座を提供しています。

発達障害児の子育てや職場でのストレス、家族の認知症症状などの悩みを地域の皆様と一緒に考え、問題解決のヒントや情報提供を行いますので、是非リソースナースを地域の「資源」としてご活用ください。(原則として講師料は無料、交通費のみいただきます。)

ご連絡・問い合わせ先 独立行政法人国立病院機構肥前精神医療センター

TEL 0952-52-3231 (代表)看護部出前講座担当 副看護部長(大兼久みより)

独立行政法人国立病院機構肥前精神医療センター 看護部 富田 泉

短歌

夜勤明け 『お疲れ様』の 声のみ響く ステーション
今日は、早く帰ると 思いつつ
気づいたときは だれもいはず

宝くじ 夢と希望は また今度
一年が 年をとるたび 早送り
2交替 3交替より 楽かもね
ありがとう その一言が 明日の糧
帰りたい ああ帰りたい 帰りたい
時計みて あと5分が 待ち遠しい
電力導入 パソコン入力 日が暮れる
熟睡の 患者起こして オムツ換え



広報委員賞

初日の出 今年は何か いい予感

銅賞 銀賞

勤務表 見ても増えない 休みの日
君の名は? 声掛け防ぐ 誤認事故

金賞

『すいませーん!』
助けて欲しいの 私です

ナース川柳

協会からのお知らせ

第35回佐賀県看護研究学会について お知らせとお願い

昨年までの会場ではありません！

駐車場に限りがあります。できるだけ公共交通機関を利用するか乗り合わせで参加してください。

日 時：平成29年3月12日（日）

場 所：ゆめプラット小城 小城市小城町253-21 TEL：0952-37-6601

駐車場：参加者駐車場 ①ゆめプラット小城駐車場 100台

②ひらまつ病院裏側駐車場

③ピートスイミングスクール 20台

平成29年度認定看護管理者教育課程ファーストレベルの応募

申込期間：平成29年2月1日（水）～2月28日（火）

詳細につきましては、各施設へお知らせした案内でご確認して下さい。



理事会等報告

常任理事会 平成28年10月6日(木)

1. 次回の理事会(10月15日開催)打合せ
2. 事業報告(7月～9月)
3. 平成29年度重点事業(案)について
4. その他
 - 1) 佐賀県看護研究学会特別講演について

理事会 平成28年10月15日(土)

協議事項の審議

1. 平成29年度重点事業(案)について(協議 1)
2. 補正予算について(協議 2)
3. その他

報告事項

1. 日本看護協会理事会報告
2. 事業報告(7月～9月)
3. 平成28年度看護職のワーク・ライフ・バランス推進ワークショップについて
4. 看護ふれあいフェスタ2016について
5. 全国会議等報告
6. 研修会等報告
7. その他

常任理事会 平成28年12月1日(木)

- 1.理事会打合せ(12月10日開催)について
- 2.平成29年度事業計画(案)について
- 3.平成29年度役員人事について
- 4.平成29年度日本看護協会長表彰候補者について
- 5.四師会提出議題について
- 6.その他

理事会 平成28年12月10日(土)

協議事項の審議

1. 平成29年度事業計画(案)について(協議 1)
2. 平成29年度佐賀県看護協会改選役員候補者の推薦について(協議 2)
3. 平成29年度日本看護協会長表彰候補者について(協議 3)
4. 訪問看護ステーションかんざき出張所の廃止について(協議 4)

報告事項

1. 日本看護協会理事会報告(資料 1)
2. 地区別法人会・職能委員長会報告(資料 2)
3. 看護職のワーク・ライフ・バランス推進ワークショップフォローアップ開催について
4. 平成28年度佐賀県看護研究学会について
5. 災害支援ナース派遣調整合同訓練について
6. 特別委員会報告
 - 1) 医療安全推進委員会
 - 2) 創立70周年記念事業検討委員会
 - 3) 認定管理者教育運営委員会
7. その他
 - 1) 会員情報管理体制について
 - 2) 佐賀県四師会医療問題懇話会について
 - 3) さが桜マラソン2017について

お詫びと訂正

さが看護協会だよりSeptember.2016 特集「ナースめし」で掲載しました「真仁会 諸隈病院」は「剛友会 諸隈病院」の誤りでした。お詫びし訂正いたします。

編集後記

明けましておめでとうございます。

今年は、酉年です。酉『とり』は『にわとり』を指しており、5徳(知・信・仁・勇・厳)を備えています。よって酉年の方は責任感が強くマメなので、どんな仕事もそつなくこなします。今年は各施設で酉年の方を中心に仕事にとり組んでみてはいかがでしょうか。私達広報委員会も2名の酉年を中心に一致団結していくので皆様よろしくお願いいいたします。

広報出版委員会 富田泉、中島津久美、原ゆかり、島田道子、永渕弥生、鈴木衆哉

URL:<http://www.saga-nurse.org>

